

## 2018年7月15日、中央3丁目自治会・夏祭りで、災害時トイレの使い方をPR

2018年7月15日（日）、海老名市中央3丁目自治会（25のマンションで構成される自治会）主催の夏祭りに、海老名災ボラが参加し、災害時のトイレの使い方について、展示と説明を行いました。海老名駅近くの県水会館で開催された同自治会の夏祭りには、520人の住民が訪れました。災ボラの展示のある場所には、若い家族連れを中心に、多くの方が訪れました。説明は、大規模災害時には、電気が止まり、水が止まることがあるので、水洗トイレに水を流さずに、ビニールをトイレにかぶせて、そこで用を足し、凝固剤などを使って、固形物扱いとする方法を説明しました。マンションの住民の皆さんは、災害時のトイレ対策について、熱心に聴いてくれる方が多いと思いました。